

単元6 近代の欧米とアジア(T)

①近代革命

イギリスの台頭と革命…16世紀、イギリスでは国王による国家統一が進められる。

①女王**エリザベス1世**の時代…無敵と言われたスペインの艦隊(アルマダ)を破り、**東インド会社**を設立。

②イギリス革命…17世紀、議会在国王の**絶対王政**確立に反対

⇒国王と議会の対立激化し1642年内乱発生

⇒クロムウェルを指導者とする議会側が1649年国王処刑により共和政樹立

⇒**ピューリタン革命**。革命後、王政が復活。国王と議会の信頼は復活せず、

1688年にオランダから新国王を迎え、権利の章典を發布⇒**名誉革命**

フランスの絶対王政と啓蒙思想

⇒17世紀後半、ルイ14世の時代に絶対王政確立、王の浪費による財政難に。18世紀、**啓蒙思想**が広まり(**ロック、モンテスキュー、ルソー**)、国王の専制政治や社会制度への批判が高まる。

アメリカの植民地

⇒大航海時代、ヨーロッパ諸国の人々がアメリカ大陸に移住⇒イギリスは**13の植民地**を作る

⇒イギリス本国からの砂糖や茶への新たな税などに抗議し、イギリスからの独立を目指す

アメリカ合衆国の成立

⇒1775年**独立戦争**⇒1776年**独立宣言**。戦争に勝利し**アメリカ合衆国**を打ち立てる

フランス革命

⇒1789年、**三つの身分**の代表による議会が開かれるが、平民の代表は**国民議会**を作る

⇒国王が武力で抑えようとし、**フランス革命**が起こる⇒国民議会が人権宣言を発表

②産業革命

イギリスの産業革命

⇒18世紀後半**産業革命**が始まる⇒19世紀中頃のイギリスは「**世界の工場**」

産業革命の広がり

⇒19世紀には、他のヨーロッパ諸国、アメリカ合衆国、ロシア、日本にも広がる

資本主義と社会主義

⇒生産手段(資本)を所有する資本家と雇われて働く労働者が社会を動かす。**資本主義社会**で社会問題が発生⇒労働組合の結成など。**マルクス**など**社会主義**(より平等で公正な社会を目指す思想)を説く思想家が現れた。(※資本主義を右派、社会主義を左派ということもある)

③強大な国家を目指して

アメリカ合衆国の発展

⇒独立後、西部を開拓し、太平洋側に領土を拡大。19世紀中頃、黒人奴隷を使う南部と工業化の進む北部が対立⇒1861年**南北戦争**⇒**リンカーン大統領**は**奴隷解放**を宣言

⇒1865年、北部が勝利

ロシア帝国の改革⇒ロシアは皇帝による専制政治。クリミア戦争敗北⇒1861年、**農奴解放令**

イタリアとドイツの統一

⇒1870年イタリア王国が統一。1871年、プロイセン王国の**ビスマルク**首相のもと、ドイツ帝国成立⇒ロシア、イタリア、ドイツは**近代化**をすすめる⇒**列強**の誕生。

④国を揺るがす綿とアヘン

インド⇒17世紀初め、イギリスが進出。産業革命後、安価な綿織物を大量にインドを輸出

⇒インドの綿産業がおとろえ、人々の不満が高まる

⇒1857年、イギリスとの戦いが起こる(**インド大反乱**)⇒ムガル帝国(インドらへん)滅びる

中国(清)

⇒イギリスは清からの茶の輸入で貿易赤字⇒インドのアヘンを清に密輸し銀を入手

⇒1840年**アヘン戦争**⇒**南京条約**。1851年貧しい農民たちが**洪秀全**を指導者として**太平天国**を作る⇒清に倒される

東南アジアの植民地化

⇒ヨーロッパの国々による東南アジアの国々の植民地化が進む

単元6 近代の欧米とアジア(S)

①近代革命

イギリスの台頭と革命…16世紀、イギリスでは国王による国家統一が進められる。

①女王_____の時代…無敵と言われたスペインの艦隊(アルマダ)を破り、_____を設立。

②イギリス革命…17世紀、議会在国王の_____確立に反対

⇒国王と議会の対立激化し1642年内乱発生

⇒クロムウェルを指導者とする議会側が1649年国王処刑により共和政樹立
⇒_____。革命後、王政が復活。国王と議会の信頼は復活せず、
1688年にオランダから新国王を迎え、権利の章典を發布⇒名誉革命

フランスの絶対王政と啓蒙思想

⇒17世紀後半、ルイ14世の時代に絶対王政確立、王の浪費による財政難に。18世紀、_____が広まり(_____, _____、_____)、国王の専制政治や社会制度への批判が高まる。

アメリカの植民地

⇒大航海時代、ヨーロッパ諸国の人々がアメリカ大陸に移住⇒イギリスは13の植民地を作る
⇒イギリス本国からの砂糖や茶への新たな税などに抗議し、イギリスからの独立を目指す

アメリカ合衆国の成立

⇒1775年_____⇒1776年_____。戦争に勝利し_____を打ち立てる

フランス革命

⇒1789年、三つの身分の代表による議会が開かれるが、平民の代表は_____を作る
⇒国王が武力で抑えようとし、_____が起こる⇒国民議会が人権宣言を発表

②産業革命

イギリスの産業革命

⇒18世紀後半_____が始まる⇒19世紀中頃のイギリスは「_____」

産業革命の広がり

⇒19世紀には、他のヨーロッパ諸国、アメリカ合衆国、ロシア、日本にも広がる

資本主義と社会主義

⇒生産手段(資本)を所有する資本家と雇われて働く労働者が社会を動かす。_____で
社会問題が発生⇒労働組合の結成など。_____など_____ (より平等で公正な社会を目指す思想)を説く思想家が現れた。(※資本主義を右派、社会主義を左派ということもある)

③強大な国家を目指して

アメリカ合衆国の発展

⇒独立後、西部を開拓し、太平洋側に領土を拡大。19世紀中頃、黒人奴隷を使う南部と工業化の進む北部が対立⇒1861年_____⇒_____大統領は_____を宣言
⇒1865年、北部が勝利

ロシア帝国の改革⇒ロシアは皇帝による専制政治。クリミア戦争敗北⇒1861年、_____

イタリアとドイツの統一

⇒1870年イタリア王国が統一。1871年、プロイセン王国のビスマルク首相のもと、ドイツ帝国成立⇒ロシア、イタリア、ドイツは_____をすすめる⇒_____の誕生。

④国を揺るがす綿とアヘン

インド⇒17世紀初め、イギリスが進出。産業革命後、安価な綿織物を大量にインドを輸出

⇒インドの綿産業がおとろえ、人々の不満が高まる

⇒1857年、イギリスとの戦いが起こる(_____)⇒ムガル帝国(インドらへん)滅びる

中国(清)

⇒イギリスは清からの茶の輸入で貿易赤字⇒インドのアヘンを清に密輸し銀を入手

⇒1840年_____⇒_____。1851年貧しい農民たちが洪秀全を指導者として_____を作る⇒清に倒される

東南アジアの植民地化

⇒ヨーロッパの国々による東南アジアの国々の植民地化が進む